

立命館経済学 第二十二卷総目次（昭和四十八年度）

論 説

号 頁 頁

株仲ケ間の一考察……………	足立政男	一〇一	一〇六
——京都における老舗の経営から見た——			
インフレーション経済構造……………	小牧聖徳	一〇三	一〇六
『総供給価格』考……………	建林正喜	一一〇	一一五
——E—K分析からD—Z分析へ——			
伝統こけしの経済的研究……………	杉野 園明	一一八	一二五
新古典派成長論の政策的含意……………	置 塩 信 雄	一二三	一二七
二重経済の諸問題……………	北 村 元 一	一三三	一三七
『資本論』と「競争」論……………	高木幸二郎	一四三	一四七
フィリップス曲線を含む不均衡動学モデル……………	安井修二	一五三	一五七
社会主義経済と最適経済機能システム……………	小野 一 郎	一六三	一六七
——経済学方法論にかかわって——			
現代社会主義論の課題……………	三好正巳	一七三	一七七
資本価値の破壊に関する若干の問題……………	杉野 園 明	一八三	一八七
現代巨大生産単位における労働者の存在構造……………	坂本和一	一九三	一九七
——現在日本の銑鋼一貫製鉄所の場合——			
平田清明氏の価値論……………	上野俊樹	二〇三	二〇七

現段階における農業危機……………上原信博

帝国主義論と「二つの道」論……………日南田静真

——スクヴォルツォーフとスチェパノフの場合——

再生産論と地代論……………保志 恂

——農業危機把握と止揚の理論的一基準——

労働貴族論にかんする若干の覚書……………戸木田嘉久

戦後日本資本主義と林業・山村問題の展開構造……………奥地 正

### 研 究

「虚偽の社会的価値」の理論的根拠……………内山 昭

——井上晴丸教授の所説にふれて——

### 紹 介

A・ライオンフーフト『ケインズ派経済学と

ケインズの経済学』(一)……………小野 進

——貨幣理論の研究——

「現代自主管理論の動向——マンデルの自主管理論——」……………津島陽子

### 翻 訳

A・ゲ・グランベルグ「社会厚生目的関数と

実用国民経済モデルにおける最適性基準」(下)……………小野一郎

西ドイツ農業における国家独占資本主義……………振津純雄

五・六……三(五九)——三(五九)

五・六……三(五九)——七(六三)

五・六……七(六三)——一〇(六五)

五・六……一〇(六六)——三(六九)

五・六……三(六五)——一(六七)

五・六……一(六七)——一(六七)

二……一〇(三六)——一(五七)

三・四……五(五〇)——七(五三)

一……八(八七)——一〇(九〇)

五・六……一(九七)——三(一〇〇)

建林正喜教授退任記念号

経済学研究四十年を回顧して……………建林正喜  
三〇四…三七二(五三三)——三七六(五三八)  
略歴・著作目録……………三〇四…二七七(五三九)——二八二(五四〇)

井上晴丸教授追悼号

晴丸さんの想い出……………建林正喜  
五六…三三九(七五五)——三三七(七九三)  
井上晴丸先生の学問的業績……………大藪輝雄  
五六…三三六(七九四)——三五九(八二五)  
略歴・著作目録……………五六…一(i)——(xxiv)

共同研究室

昭和四八年度第一回研究会「ハーバード  
大学生活のあれこれ」……………浜崎正規  
二…一五九(六七)——一五九(六七)  
昭和四八年度第二回研究会「マルクス  
『近代的独占』論の意義と限界」……………若林洋夫  
二…一五九(六七)——一五九(六七)  
昭和四八年度第三回研究会「外国貿易論研究の一視角  
——経済学批判体系プラン後半項目のまとめ」……………岩田勝雄  
二…一五九(六七)——一六三(七七)  
昭和四八年度第四回研究会「従来の研究について  
平田清明氏の価値論」……………上野俊樹  
三…一六三(五五五)——一六三(五五五)  
昭和四八年度第五回研究会「ヨーロッパ工業見聞記」……………川本和良  
三…一六三(五五五)——一六三(五五五)  
昭和四八年度第六回研究会「日本林業の現局面について」……………奥地正  
三…一六三(五五五)——一六三(五五五)  
昭和四八年度第七回研究会「『虚偽の社会的価値』の  
理論的根拠」……………内山昭  
五…一六三(五五五)——一六三(五五五)

昭和四八年度第八回研究会「経済学研究	
四十年をふりかえって.....	建林正喜
昭和四八年度第九回研究会「トポロジーとは」.....	荒井正治
本年度会員業績.....	
	五六・二四(七七)——二四(七七)
	五六・二五(七七)——三三(七七)
	五六・三三(七七)——三三(七七)